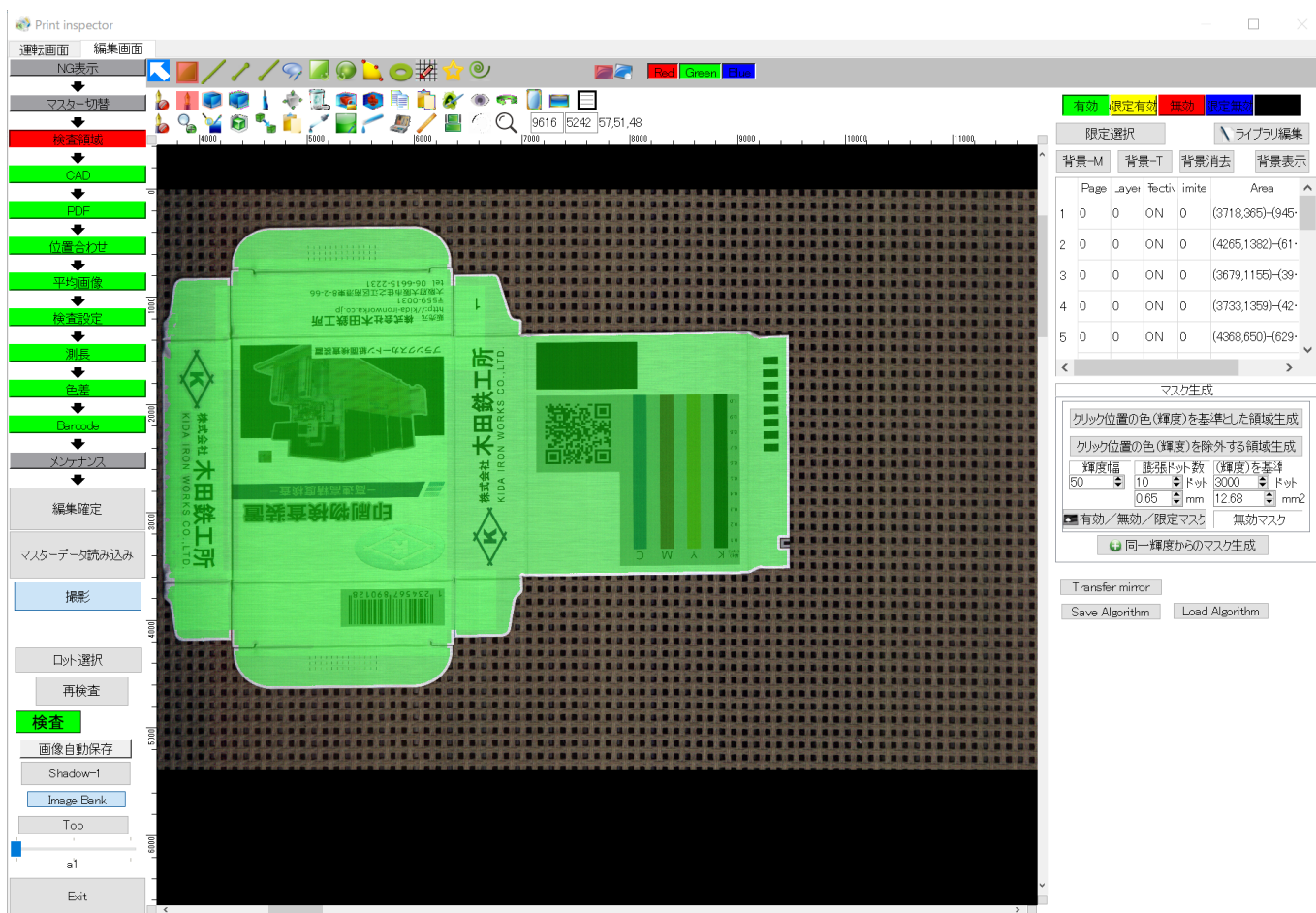


Masking 説明書

作 成 者	株式会社メガトレード
作 成 日	2026 年 6 月 30 日
最終更新日	2026 年 6 月 30 日

検査領域



このように表示されます。

マスクの種類

有効マスク	無指定の検査する領域を表し、設定します。
限定有効 マスク	処理するアルゴリズムを特定した検査領域を設定します
無効マスク	無指定の検査しない領域を表し、設定します。
限定無効 マスク	処理するアルゴリズムを特定した検査しない領域を設定します

複数の領域が重なっている場合「無効マスク」が最優先で採用されます。それ以外はライブラリなどの設定によって処理の優先度が変わります。

DotColorMatching の場合、

限定無効マスク⇒限定有効マスク⇒有効マスク
の順に一般的には判定されて処理されます

有効マスクの設定

有効 限定有効

有効マスクを押し下げた状態でマスク領域を描画します。



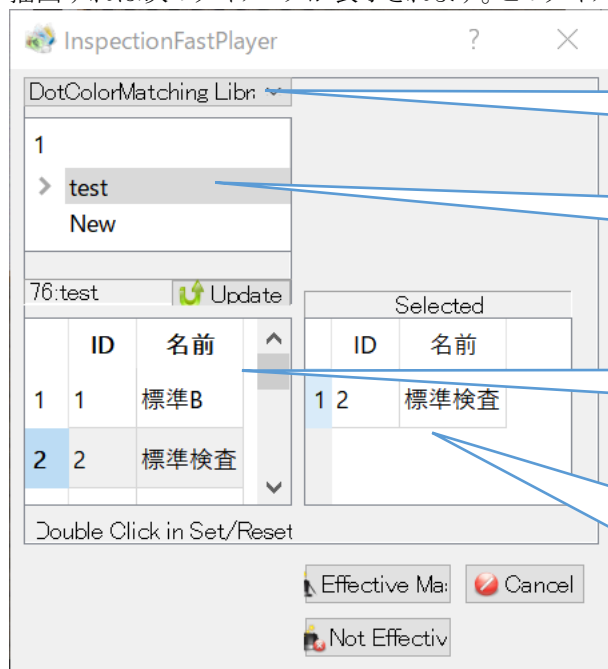
このように画像上に描画します。
形状指定のアイコンで切り替えると、様々な形状で描画できます。

限定有効マスクの設定

有効 限定有効 無効

限定有効マスクを押し下げた状態でマスク領域を描画します。

描画すれば次のダイアログが表示されます。このダイアログで「何を特定するか」を設定します



1: アルゴリズムを選択

2: ライブラリの階層を選択

3: 特定するライブラリを選択。ダブルクリックで選択します。

4: ここにリストされているライブラリが設定されるライブラリになります。ダブルクリックで解除できます。複数設定可能です。

EffectiveMask ボタンを押すと設定したライブラリで限定有効マスクが設定されます
NotEffectiveMask ボタンを押すと設定したライブラリで限定無効マスクが設定されます

無効マスクの設定

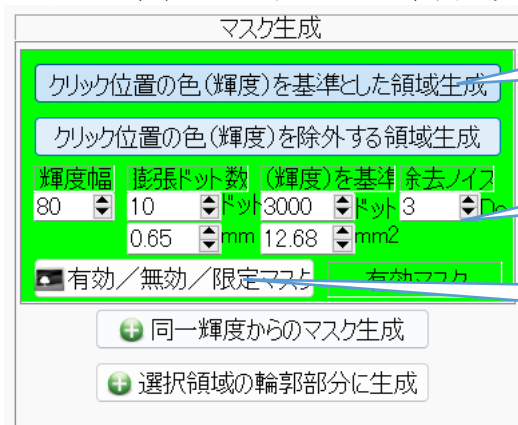


無効ボタンを押し下げて領域を描画します。

自動領域抽出

2 種類の自動抽出を実行できます

1: マウスでクリックした位置の色を中心とした色範囲の領域を抽出



1: このボタンを押し下げます

2: 抽出する領域の各種設定を行います

3: 生成するマスクの種類を設定します

これらを設定してマウスで画像上をクリックすると自動抽出→マスク生成が実行されます。

<設定値>

輝度幅

マウスでクリックしたピクセルの色の R/G/B 輝度値に対して 土での輝度範囲を決めます。数値が大きければマウスでクリックしたピクセルの色と多少異なる色まで抽出します

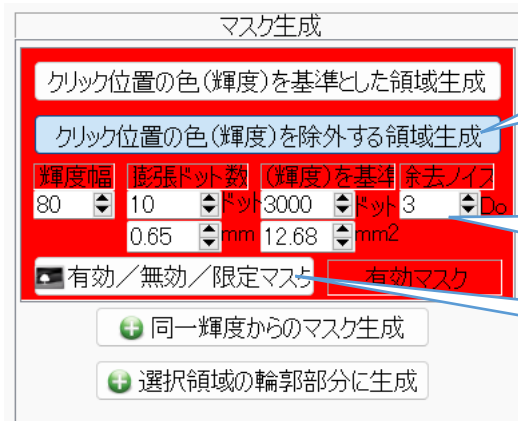
膨張ドット

抽出した領域に対してマスクを生成する際に膨張させるピクセル数を設定します。収縮させる場合はマイナスの値を設定します

抽出サイズの下限 ここで設定した面積以上の領域を抽出します。

2: マウスでクリックした領域以外の部分を抽出してマスクに設定

⇒主として背景を取り除いてワークだけを取り出す際に使用します。



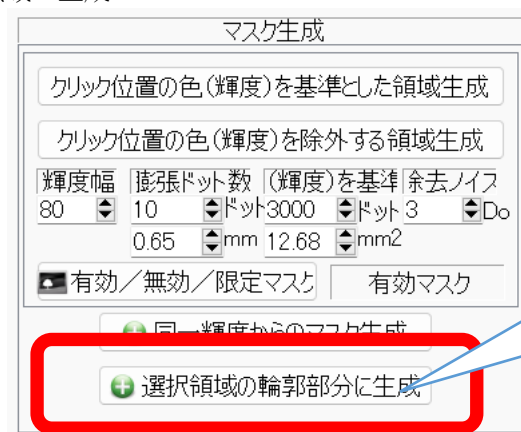
1: このボタンを押し下げます。

2: 抽出する領域の各種設定を行います。
説明は前述と同じ

3: 生成するマスクの種類を設定します。

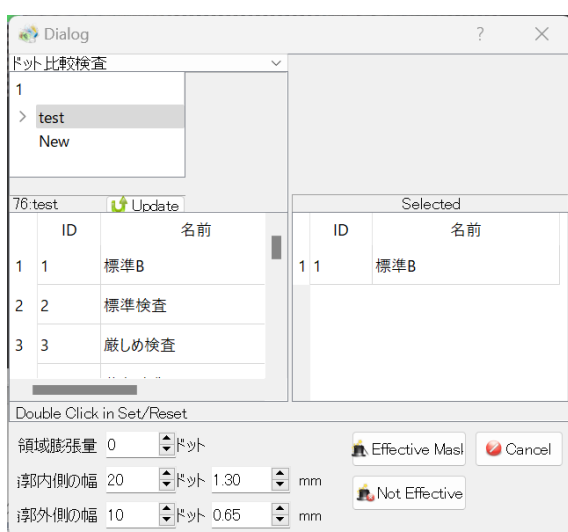
これらを設定してマウスで画像上をクリックすると自動抽出→マスク生成が実行されます。

3: 輪郭領域の生成



輪郭を作成したい領域を選択状態にしてこのボタンを押します。

このボタンを押すと次のダイアログが表示されます

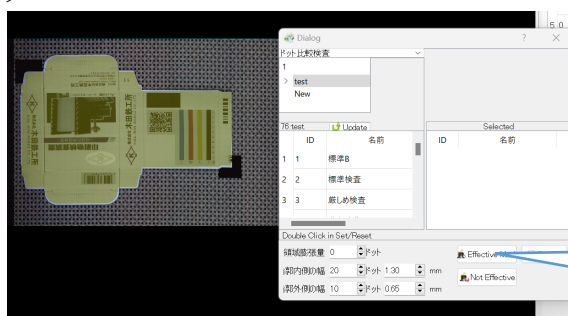


設定する限定ライブラリを選択します。(選択しなければ、通常の有効マスク/無効マスクになります)

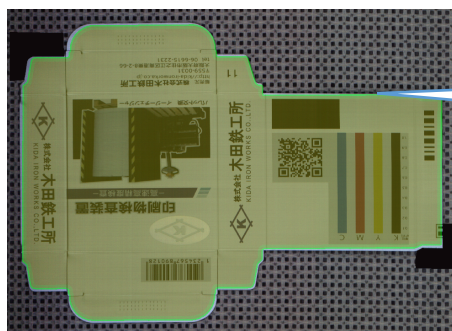
領域膨張量: 選択領域を膨張させます。
輪郭内側の幅: 生成する輪郭の内側幅
輪郭外側の幅: 生成する輪郭の外側の幅

Effective Mask 有効マスクを作成
Not Effective Mask 無効マスクを作成

<使用例>



有効マスクを生成



輪郭領域にマスクが生成された

